

2016年5月号 FP武蔵野グループ



伊達 寿和 (CFP®認定者)

「電力自由化について」

4月から電力小売の全面自由化が始まりました。電力会社やガス会社、携帯電話会社、石油小売会社、ケーブルテレビ会社など、さまざまな業種の会社から新しい電気料金プランが発表されています。その一方で4月初めの新電力会社の契約数は1%以下との報道もあり、消費者はまだ様子見の状況が続いています。

電力自由化は、競争原理を導入して経営効率化を図り、高いと言われる電気料金の引き下げを目的に始まりました。実は東日本大震災の前、2000年から大規模工場向けに電力自由化が始まっており、その後2004年に中規模工場向け、2005年に中小ビル等向けと拡大して、2016年4月より全面自由化となっています。

電力自由化で家庭が受けるメリットとしては、自分たちで電力会社を選べるようになること、電力会社の競争で電気代が安くなると期待できること、ライフスタイルに合わせた電気料金プランを選べるようになることがあります。私達が一番期待していることはやはり電気料金が下がることではないでしょうか。競争によって全体的に電気料金が下がることを期待しても良いのですが、より安い電気料金プランのある電力会社に積極的に切り替えていくことも選択肢の一つです。

各社の電気料金プランを見ていますと、アピール点は大きく4つに分けられます。①電気料金そのものを安くしているケース、②異なるサービス（ガス、電話、ガソリンなど）とセットで契約することで割引くケース、③利用料に応じてポイントで還元するケース、④付帯サービス（トラブル対応）などを付けるケースです。各社それぞれ違いがありますので、じっくり比較することが大切です。

しかし実際に電力会社を変えようと思っても、意外に知らないことも多いものです。どのような手続きが必要なのか、工事が発生するのか、手数料がかかるのか。あるいは電気の質が悪くなる（停電の発生）ことはないのか、電力会社が倒産したらどうなるの

かなどさまざまな疑問もあるかと思えます。経済産業省資源エネルギー庁や電力・ガス取引監視等委員会のホームページでも「よくある質問」が掲載されているので一度ご覧になってはいかがでしょうか。

F P 武蔵野グループでは、5月15日(日曜日)に「電力料金プランと家計セミナー」を開催します。電力自由化の概要と電気料金プランを選ぶポイントを分かりやすく説明します。電力会社を変えることを考えている方、まずは内容を知りたいという方も含め、皆さまの参加をお待ちしております。

以上